令和５年度(2023)

令和５年６月19日　第１回学校運営協議会　委員13名出席、２名欠席
さいたま市学校運営協議会規則の説明
「学校運営に関する基本的な方針」について
・福島復興に関わるHAMADOORI REBORNの具体的な取組について知りたい。
　→浜通りにある13の町に対して具体的に町おこしプログラムを考えるものである。
　→福島を訪問したが多くの課題があり大切な取り組みである。
　→8町村に対して４年間の継続的な取組をめざしている。
・英語教育の大切さにどう取り組んでいくかが大切。
　→昨年度までSSDE、今年度からGC4Sといった取り組みを実施している。
　→科学英語にどう触れていくか、継続的な指導に期待したい。
　→英語でディベートや自己主張ができることはとても大切。
　→プレゼンに取り組むのも英語と日本語では大きな違いがある。
　→学校としてより効果的な体制づくりをめざしたい。
・STEAMS TIMEの様々な取り組みに期待したい。
　→小中高の12年間での学びとして具体的にSTEAMSはどのような学習になるのか。
　→小中学校には昨年度から位置づけられた。高校では研究活動のスキルを高めたい。
　→小中学校ではものづくり的なイメージが多い。宮原中ではSDG’sに関するものに取り組んだ。
　→小中高の連携等はどう生かされていくか。
　→この２年間ファシリテータ養成講座として小中学校の先生と学ぶ取組を実践している。
　→いろいろな可能性があるSTEAMS TIMEに大切に取り組んでいきたい。
・外部から見た大宮北高校、効果的な情報発信や評価・課題についてご意見をいただきたい。
　→口コミがとても大切、SNS等の活用を工夫してはどうか。
　→テレビで多く取り上げられ、生徒や先生方の様子に好感度アップにつながっている。
　→メディアの力は大きいと思う。
　→私立高校ではプレゼンの動画等がHPに掲載されていてわかりやすい。
　→行事での関り等も大切、近隣の学校を見に行きたくなるような工夫をして欲しい。
　→進学実績や部活動等の取り組みにも中学生、保護者は関心が高い。

　→教務部では生徒募集を担当している。様々な工夫をしていきたい。
・安心安全をめざし、ヘルメットの着用指導、SNSによるトラブル防止、教育相談の充実を図る。
・部活動の活性化、学校行事の公開や地域との協力に取り組んでいきたい。
・SSHの様々な取り組みを充実したい。特に海外連携については新たな取り組みが増えている。
　北高キャラクター等も活用し、交流に生かしたい。
・生徒の学力、進学意欲は伸びている。結果につながる指導を充実させていきたい。

令和５年11月27日　第２回学校運絵協議会実施　委員出席13名、欠席２名
授業見学実施
学校運営に関する報告
・SSH、生徒募集、部活動、地域活動への参加について報告
　→生徒募集の方法を改善できないか。メイン会場以外で動画を流すのも一つ。

→来てもらうことは大切、空いている部屋をうまく活用できないか。
→体育館、視聴覚室、りんどうホールをうまく活用して欲しい。
→コロナ禍で説明会の申し込みをするのも大変だった。二部、三部制をしてもらえると助かる。
親目線の部分はPTAでも手伝えると思う。
→中学校からすればまずは自分の足で行ってみることを大切にしている。
高校生との触れ合いも大切な要素である。
→いろいろな工夫ができそうである。文化祭の活用、生徒発表の場を増やす等の工夫をしていきたい。
→一昨日が説明会だったので、「来てみてわかる」ことを大切にした。生徒の発表は人気ある。

学校運営に関する意見交換、熟議

【学校環境・ＩＣＴ】

・若い先生が増えた。今までは異動が少なかった。
・年代はいろいろ大切、フレンドリーな雰囲気は大切。
・職員の年齢バランスは大切である。
・生徒が熱心、先生も熱心、偏差値が上がっている、進学実績の向上も最もだ。
・今後の生成ＡＩの活用はどんな方向性か。
→取り組み始めている実態はある。うまく研究を進めている。まだ全体の方向性ではない。
→ＩＣＴの先進校としてさらに一歩先を見据えたい。悩んでいる段階。
→先進校として良いレベルであると感じているが、生成ＡＩはまだこれからのレベル。
→授業以外でこの環境をどう生かしているかに目を向けていくかも大切。
→同じものを使っていることで共有しやすさはある。
→研究発表の整理等で活用されている部分もある、外国の人とのデータ・ソフトの共有も大切となっていく。
オンラインによる共有でも有効性は高い。来年度は実験活動にも生かしていく予定である。
→ＩＣＴ先進校、グローバルな取り組み、ＡＩ活用、準備の時期となる。

【学校のセキュリティについて】

・空き教室の戸が開いていた。電気も点いていた。セキュリティ面はどうか。
学校ってどこからでも入れる。甘くないか。ドアを閉めるだけでも違う。
→数年前に窃盗があってドアを閉める徹底をしていたはずだが今日は開いていた。
防犯カメラの状況はどうなのか。
→カメラは７台入口等についている。教室、廊下にはない。
→今の時代カメラはそんなに気にならないのではないか。どんどんつけるべき。
→廊下につけていく方向で進めたい。
・いい生徒、いい地域と思っているがいろいろな人はいる。
→疑う気持ちも大切。泥棒ならまだしも、危害を加えられては大変である。

【制服について】

制服改訂から２年、状況や今後の展望は。
→来年度から旧制服の販売はなくなる。ユニクロにこだわるわけではないが定番アイテムが比較的あるので採用している。既製品を採用しているので今後は標準服化されていくのでは。安価で選べるスタイルは本校らしさになっている。他校からの問い合わせもある。
→旧制服のセーターは丈夫だった。だいぶ見慣れた。女子にスラックスは喜ばれている。
→制服に関しても継続な課題である。
→制服だけでなく、校則等の見直しも時代とともに変化すべきである。
→校則は長い時間見直されなかったことが課題となっている。検討は必要。

→自由の考え方の指導を大切にして欲しい。
→自主・自律、その教育が大切。
【地域連携】
多くの連携に感謝している。北区民まつりにボランティアを出してもらえないか。小中のさらなる連携に期待したい。投票率の低下を何とかできないか。主権者教育の取り組みはいかがか。立会人や投票に関わってもらうのも大切ではという声もある。可能であれば協力して欲しい。
→模擬投票等の取り組みもしてきたが、型にはまってしまっている。
→当初は実施してきたが、その年代の投票率は低い。３０代も低い、政治の教育はなかなかされていない、しにくいのでは。
→大学に地元は３分の１しかいない、住民票を移していない学生がほとんどである。
→最初に行かないとなかなか行かない現状、職場の影響で行く人が出る程度、電子投票には様々な課題あり。そのセキュリティが解決できないと厳しい。駅の中やショッピングセンターで投票できる仕組みは出てきている。
→システムと意識の双方に課題はある。高校としての責任を果たしていきたい。
【中高連携】
　教員の連携と生徒の連携に期待、お互いの授業を見せ合う等は小・中では実施されている。そのような取り組みができるといい。生徒も高校の授業を見せてもらうといい。高校生との接点があるとありがたい。学校規模的に厳しいとは思うが近くの学校として教員も生徒も身近に感じられると良い。部活や行事の連携、夏休みに勉強を見てもらうような機会、そんなこともあると良い
　→縦のつながりを大切にして欲しい。小中校の運営協議会にすべて参加している。縦のつながりを作ることでいろいろなことが見える。先生方も成長し、保護者も地元の高校に関心を持つのではないか。
　→小中の先生方との連携はできないのか。
　→夏にファシリテータ養成講座を実施、まちたんけんに協力、課題研究で小学校にアンケートに出向く等の体制はある。
　→ぜひ、いろいろと考えて進めて欲しい。
【高大連携】
　大学もうまく活用して欲しい。サイエンスのバックアップ等も可能。高校生向けに開講している講座もある。積極的に活用して欲しい、大学の単位として認められている。大学を知る意味でも大切ではないか。
　→毎年若干名であるが参加者はいる。参加者は効果を認めている。

【まとめ】
１　学校説明会
・申込多数であれば、体育館以外の別室で同時に映像を流すのはどうか。ＡＭとＰＭなどの２部制、３部制にしてみたらどうか。実際に来てもらった方がいい。
・中学校ＰＴＡバスツアーも好評。まず保護者が学校を見て、子どもに伝え、実際に一緒になって学校を見に来るパターン。
・在校生の保護者が、中学生保護者にアドバイスできる機会があるといい。中学生が高校生と触れ合う機会があるといい。中学生は偏差値が合うから希望する生徒が多い。
・大学の説明会は２部制。学生が相談を受ける。学食が開いているといい。午前中説明会に行って昼食は食堂で。

２　防犯

・移動教室で扉が開いている、電気が点けっぱなし。防犯上からも、経済面からもよくない。出入り口がいっぱいある大宮北高はいろいろな人が入りやすい学校。防犯カメラなどを設置したほうがいい。最近では防犯カメラを付けることに抵抗感が薄くなっている。

３　制服
・ユニクロセーターが薄手。以前の物は暖かい。
・女子で自転車通学の子は、ズボンは良いと言っている。
・今後、仮に私服になったとするならば、前提として、ちゃんと生徒が着こなすことが大事で、自己管理できるのかどうか。その指導と生徒の認識が必要。

４　地域
・地域の行事が復活してきた。ボランティアでいろいろ参加していただきありがたい。北区民まつりなどの行事もあるので、参加してもらえるとありがたい。
・投票率が上がらない。当初、主権者教育は熱心だったはず。今はあまりやっていないのでは。例えば、投票所で高・大学生の立ち合い補助などをやってはどうか、投票所が明るい雰囲気になればいいのではとの考えを持っている。
・中学生と高校生が接する機会があるといい。部活動や学校行事で一緒になるといったことや中学３年生が高校生に勉強を教えてもらえる機会など。
・地域で小中高の縦のつながりがあるといい。
・高校の先生が中学を見に行くのもいいのでは。

５　その他
・英検などの資格を取った方がいいと言うことを中１のとき、高１のときから言ってもらった方がいい。
・生徒の研究活動に対して、先端機器もあるので、大学を利用してもらえれば。

令和６年２月 15 日　第３回学校運営協議会実施　委員 12 名出席、３名欠席
学校運営の自己評価の説明
・不審者侵入情報についての質問と防犯対策について
　→門扉の開閉等対応が必要
・第２回の際に提出された意見書及び回答について
・システムシート上のＡ、Ｂ評価の違いはどこか、その対応はどう考えるか。
・地域（小中学校）との連携をさらに深める工夫をしてほしい。